

# たん暖たてやま

12/1



## シリーズ 市民 206

私の優勝が、インターハイ開催の弾みになるとうれいすね

「過去2回の出場では緊張して、力を出し切れないうまま初戦で敗れましたので、今回は思い切りやり、1勝を目標としました。ところが初戦の相手が、過去に準優勝した優勝候補の選手だったので『何も失うものはない』と割り切ったところ、不思議と落ち着いて試合に臨むことができました。」



制服姿の鈴木剛六段

3回戦でも過去に優勝したことのある強豪を破り、波に乗れました。決勝の相手は警視庁の原田選手で、優勝候補の本命。負けてもとの無心の境地で臨みました。延長で決めた最後のメンは、体が自然に動きました。」

剣道が好きで、稽古がたらく思ったことはありませんが、剣道をやめようと思ったことは一度もありません。私の優勝が、来年夏、館山で開催される高校総体の弾みになればうれいすね。自分のように素質に恵まれないものでも、剣道を好きになり、稽古に打ち込むことで勝つこと

ができました。館山で剣道を学ぶ高校生には、私の優勝を励みに、インターハイへの出場を目指して欲しいと思います。(鈴木剛さん)

### PROFILE

全日本剣道選手権優勝  
千葉県警 鈴木剛六段

全日本剣道選手権大会は、文字通りその年の剣道日本一を決める大会で、今回で52回目の開催。優勝者には天皇杯が贈られる。これまで千葉県代表の優勝はなかった。鈴木六段は、昭和47年、北条で出生。幼稚園の頃から剣道を始める。北条小、三中、安房高から法政大学を経て、現在千葉県警第一機動隊に所属。



## 道路づくりの明治維新 切割と隧道

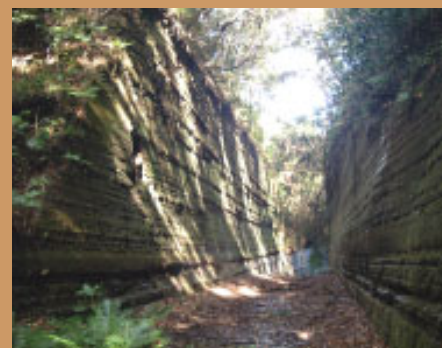
5月に富津館山自動車道の富浦インターが開通して、館山から千葉方面への移動も早くできるようになりましたが、そのためにいくつものトンネルを掘り、山を切り開きました。そうしなければ、いくつもの山を越えていく坂道だらけの道路になってしまわうわけです。

房総半島は低い丘陵地とはいいながら、比高差がある半島内を移動するのは、むかしから苦勞の種でした。なるべく上り下りを楽にするため、丘陵の尾根上を移動する道が多くつくられていきましたが、山道は狭く曲がりくねっていました。山を下りても、川には橋がなく、海岸では砂浜や磯を歩くことになったりして、牛馬や荷車では荷物を運ぶこともできない道ばかりでした。

江戸時代は治安維持のためもあって、あえて道の改良もされませんでした。が、明治時代になると情報伝達の迅速化や流通の発展のために、県をあげての道路改良が進められます。明治10年代の県知事船越衛や安房郡長吉田謹爾がその推進者でした。

館山市から周辺町村へ向かう幹線にある現在の隧道(トンネル)や切割は、明治20年(一八八七年)前後からつくられはじめたものです。国道128号線で九重地区大井から丸山町へ出る加茂坂の工事にはすでに切割の道がつけられていました。この道ができる以前は、竹原の相賀から丸山町へ抜ける山道を利用するのが本道でした。九重から千倉へ出る隧道も明治25年には完成して、この「嶽の堂隧道」と呼ばれました。

豊房から神余へ出る山道が切割として開削されたのは明治22年で、中山新道と呼ばれていました。現在の隧道になるのは昭和6年のことです。明治25年には豊房から千倉町大貫へ出るルートでの隧道の開削工事も行なわれています。館山から神戸へ出る切割も明治35年までには完成していました。このルートは真倉から



真倉の切割

岡田の山の上を通り、神余か神戸地区佐野へ向かう山道だったのですが、荷車を使いやすくするために、真倉側の奥深い谷と神戸側の谷を直接結ぶ平坦なルートとして開削したものでした。現在の切割は、じつは昭和16年の海軍砲術学校開設にあわせて新しく開いたもので、この切割の東側には明治の古い切割が残されています。その切割の深さと100mに及ぶ長さには迫力のあるもので、明治の人々が道路づくりにかけた執念と情熱を見ることができま

市立博物館の1月の休館日は、11日、17日、24日、31日です。1日、2日、3日は午前10時から午後3時まで、分館のみ臨時開館します。

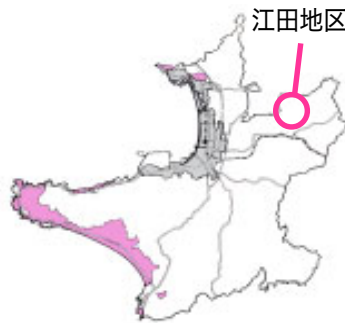
# 災害に地域で取り組もう

## 自主防災組織

### 江田区で訓練

10月23日発生した「新潟県中越地震」では、地域の自主防災組織が機能し、急遽、身近なビルやバスを避難場所とし、地域で備蓄した日用品で被災直後の対応がスムーズにできた地域がありました。市内では町内会を母体に、150もの自主防災組織が存在していますが、その多くが訓練等も行われていない状況です。九重の江田区自主防災会では、新潟県中越地震の翌日に、消防本部などの協力を得、区をあげて防災訓練を実施しました。

問合せ／社会安全対策課(☎22-3442)



### 震災直後に真剣な訓練

九重の江田区は、市内北東部、二芳村と隣接する農村地域で総戸数30戸。地域の住民は農村部であり高齢者が多い地域です。防災組織は、昭和60年に江田区自主防災会として



応急救護訓練

組織されましたが、長年にわたり組織の見直しや訓練なども行われていませんでした。今年の4月、区の総会において組織の見直しを行い、今後発生が予想される南関東地震や台風などを想定した訓練を行いました。偶然、新潟県中越地震の翌日に実施したため、参加者は新潟の話題でもちきり。参加した50人の区民は、昨日から絶え間なく報道される新潟の災害現場を目のあたりにし、真剣に訓練に取り組んでいました。



初期消火訓練

訓練に参加した、江田の主婦、平谷八千代さんは、「昨日からテレビを見ていて怖くなりました。今日の訓練では、はじめて消火器を使ったり、起震車に乗ったりでき、改めて災害の恐ろしさがわかったように思います。この体験を忘れない、災害に備えたいですね」と話していました。

### 実施された訓練内容

- 避難広報訓練(避難誘導班)  
午前9時地震発生、避難誘導班はただちにハンドスピーカーサイレンを使用し災害発生を合図。その後、ハンドスピーカーで南北から区内住民への避難広報を実施。
- 避難訓練(区民)  
区民は避難広報で、ただちに第一次避難場所の青年館へ避難を開始。(ヘルメットや防災頭巾がある人は着用)
- 応急救護訓練(区民及び救出救護班)  
館山消防署職員の指導で、119番のかけ方、心肺蘇生法・三角巾の使用方法を習得。
- 放水・消火訓練(消火班)  
消火班により可搬ポンプを使用し、火点に向け放水訓練を実施。
- 初期消火訓練(区民及び消火班)  
館山消防署員の指導で粉末消火器による消火訓練を実施。
- 炊き出し訓練(給食給水班)  
非常用保存食アルファ米を炊き上げ、避難住民に配付。
- 起震車体験  
館山消防署の起震車(グラット君)で、地震の揺れを体験。



起震車体験

# 市民の広場

最優秀賞

さしのべた その手の中に ゆづきあり

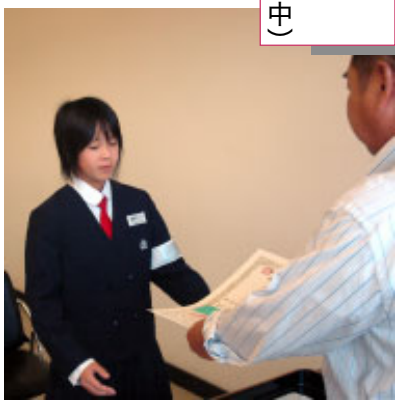
染谷莉沙(三中)

### 青少年の健全育成標語入賞決まる

青少年育成館山市民会議(糟谷次男会長)は、青少年の健全育成に関する標語を、11月の全国青少年健全育成強調月間にあわせ、市内の中学生から募集。

人・家族などを題材に中学生の視点から694点の応募がありました。

この中から最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作5点が決まりました。入賞した作品は、青少年の健全育成に関する啓発



表彰される染谷莉沙さん

活動に使用していきます。問合せ／生涯学習課(☎22-3698)



糟谷会長を囲んで前列左より中村さん、染谷さん、大槻さん、安藤さん  
後列左から辻さん、鈴木さん、花沢さん、逢坂君、須藤君

- 優秀賞／右から、中村はる華(三中)、大槻真弓(一中)、安藤都香紗(三中)
- 頑張って その一言が 背中押す
- あいさつは 心をつなぐ 合言葉
- 菜の花を 心に咲かせる 「こんにちは」
- 佳作／右から、花沢鈴香(三中)、鈴木しおり(三中)、辻真奈美(三中)、須藤豊房(南中)、逢坂航時(三中)
- 笑顔で あいさつ 大事だよ
- あいさつで 明るい未来へ 架け橋を
- あいさつは 心と心の 合い言葉
- 登下校 僕らも地域の パトロール
- 「おはようね 地域とぼくらの 合言葉

### 若潮マラソン大会のロゴマーク決まる

館山若潮マラソン大会事務局では、1月30日開催の若潮マラソン25回大会の開催を記念して、参加者記念品のTシャツなどに使用する、大会ロゴマークを募集。

87点の応募作の中から審査の結果、天津小湊町の君塚豊さんの作品が最優秀賞に決まりました。(II写真)「ゴールのテープ」「海」「風」を表す横のラインは青色、大地の人は緑色、「菜の花」は黄色の3色を使い、人がゴールに向かって力強く、最後まで走る姿を表現しています。君塚さんは「若潮マラソンのイメージで



ある菜の花の咲く道路を、ランナーが走る光景を描いてみました。最優秀賞受賞には驚いています。作品が大会記念品のTシャツに使用されるのはうれしいですね」と話していました。

応募作品は若潮マラソン大会会場にて展示する予定。他の入賞作品は次のとおりです。

優秀賞／木田直子(館山市)、清水恵一郎(富津市)、栗山和夫(九十九里町)

問合せ／スポーツ課(☎22-3696)

### おはなしの部屋

館山子どもの文化研究会では「おはなしの部屋」を開催します。

日時／12月11日(土)午前10時から11時30分

場所／コミュニティセン

ター  
演目／おはなし「くらげのほねなし」、エプロンシアター「ねずみの嫁入り」、ブラックシアター「じじいのさかな」、うたつてあそぼっ」ほか。

問合せ／中央公民館(☎23-3111)

たてやまの NPO (4) 南房総精神障害者の生活を支える会



そうめんの会(地域住民との交流)

南房総精神障害者の生活を支える会  
 理事長/西村瑞絵  
 事務所/上真倉2437  
 電話/23-7768  
 会員数/正会員22人  
 賛助会員120人  
 活動分野/保健・医療・福祉 人権平和  
 設立/平成13年10月

南房総精神障害者の生活を支える会は、精神障害者に対して生活の場の提供や生活に必要な相談指導を行い、精神保健福祉思想の普及啓発を図ることを目的に、平成13年10月にNPO法人として認証されました。活動の中心は、同年、千葉県内のNPO法人として最初に開設し、4人の男性が入居する精神障害者グループホーム「とみかわ」。翌年には、女性3名が生活するふれあいホーム「やまもと」も開設しました。また「とみかわ」の庭に地域交流スペース「茶の間トミー」を

精神障害者の自立生活を支援  
 2カ所のグループホームを運営し地域住民と交流

つくり、近隣の住民が気楽に立ち寄り、近隣の住民との交流に役立てられています。会では地域住民と一緒に行事をする機会(そうめんの会、写真)を設けたり、ホームが班長となって地域のゴミ集積場の整備をするなど、地域での役割を担うことにより、周囲との関係、つくりをすすめています。理事長の西村瑞絵さんは「医療機関に入院している精神障害者の中には、受け皿さえあれば地域社会で十分生活している人がいます。グループホームでの障害者の生活を支援しながら、入居者と地域の人の交流を推進することによって、地域が障害者を支える社会をつくり、それが互いの福祉向上に結びつくよう活動しています。」と話していました。

知って得する

健康耳より情報 7

インフルエンザに注意

予防にはまずインフルエンザの予防接種を  
 かかってしまった場合には十分な休養を

インフルエンザは毎年12月下旬から3月上旬にかけて流行します。普通のかぜと違い、インフルエンザにかかると症状が重いので、日ごろの予防と、かかった時の早めの治療が必要です。昨年はワクチンの不足が報じられましたが、今年は昨年使用量の40%増のワクチンが製造されました。問合せ/健康管理課(☎23-3113)

▼インフルエンザとかぜ(普通感冒)の違い

のどや鼻に症状が現れるところは似ていますが、ウイルスの感染力の強いインフルエンザは、人から人へ急速に感染し、38~40度の高熱で急激に発症するのが特徴です。悪寒、倦怠感、筋肉痛や関節痛などの全身症状を伴い、これらの激しい症状は通常3~5日間ほど続きます。体力のない高齢者や乳幼児がかかると、重症化することもあります。

▼インフルエンザの予防

- ・インフルエンザが流行する前までに(12月まで)予防接種を受ける。  
 (予防接種から抵抗力がつくまで2週間程度かかります。効果は約5か月とされています。)
- ・十分な栄養と休養をとる。三大栄養素(糖質、たんぱく質、脂質)のほかに、ビタミンやミネラルを効率よくとることです。
- ・十分な睡眠時間を確保します。
- ・インフルエンザ流行時は、人ごみを避けま

- ・外出時はマスクを着用し、帰ったら手洗いと、うがいをしましょう。
- ・部屋の室温は20度前後、湿度を60%~70%に保ちます。(ウイルスは湿度が60%以上が苦手)

▼インフルエンザにかかったら

- ・早めに治療し、インフルエンザを他の人にうつさない
- ・病後も体力の回復を待つ



こんなことに注意を

- ・早めに医療機関を受診して治療を。
- ・安静にして、休養をとりましょう。
- ・水分を十分に補給しましょう。
- ・室内の乾燥に気をつける。
- ・消化の良い栄養のあるものを食べましょう。
- ・こまめに窓を開け、換気をしましょう。
- ・解熱剤を使うときは、かかりつけ医に相談しましょう。解熱剤の種類によって、インフルエンザの時には使用できないものもあります。

新しい用紙は項目ごとの記載でわかりやすい

(101) 全部事項証明書	
氏名	千歳県館山市北条1145番地1 藤山 太郎
戸籍事項 戸籍編製	【編成日】平成13年12月1日
戸籍に記載されている者	【名】太郎 【生年月日】昭和50年5月5日 【配偶者区分】夫 【父】藤山 一郎 【母】藤山 幸子 【続柄】長男
身分事項 出生	【出生日】昭和50年5月5日 【出生地】千歳県館山市 【届出日】昭和50年5月6日 【届出人】父
婚姻	【婚姻日】平成13年12月1日 【配偶者氏名】千歳 花子 【従前戸籍】千歳県館山市北条1145番地1 藤山 一郎
戸籍に記載されている者	【名】花子 【生年月日】昭和50年3月3日 【配偶者区分】妻 【父】千歳 次郎 【母】千歳 秋子 【続柄】長女
身分事項 出生	【出生日】昭和50年3月3日 【出生地】千歳県千歳市 【届出日】昭和50年3月10日 【届出人】父
婚姻	【婚姻日】平成13年12月1日 【配偶者氏名】藤山 太郎 【従前戸籍】千歳県千歳市市場町1丁目1番 千歳 次郎
発行番号	00000001
これは、戸籍に記載されている事項の全部を証明した書面である。 平成16年12月20日	
千歳県館山市長	辻田 実
	職印

コンピュータ処理で迅速・正確に



A4横書き・複写防止用紙・電子印

平成6年12月に戸籍法の一部が改正し、戸籍事務のコンピュータ処理が可能になりました。市では、行政サービスの向上と事務処理の迅速化と正確化を図るため、12月18日を改製日とし、12月20日(月)からコンピュータ処理による各種手続きを実施します。コンピュータ処理を導入することで、証明書のサイズはA4判に変更。記載内容も項目別に記載された様式に変わります。証明書の発行も、大幅に時間が短縮します。  
 問合せ/市民課市民係(☎22-3414)

戸籍謄本・抄本が変わる

**対象は2万6千戸籍**  
 日本では、明治4年に戸籍法が制定され、これまでに何回かの法改正を経てきました。平成6年の改正で、戸籍のコンピュータ化が可能になり、新時代を迎えました。16年9月末現在、全国の約50%の自治体で、戸籍のコンピュータ化を実施しています。現在、館山市の戸籍数は、2万5千527戸籍(16年3月31日現在あり、全戸籍が改製の対象です。住所地が市内にあっても、本籍地が市内でない人は、対象ではありません。)

**正確・迅速・保護強化**  
 戸籍の届出が正確に速く処理され、届出から証明書の発行までの時間が短縮します。現在の和紙原本から磁気原本に変わりますので帳簿類が電子化され、プライバシーの保護も強化されます。戸籍謄本・抄本は、縦書き文書形式から横書きで項目化された形式になります。

**使用する文字は?**  
 これまで、誤字や漢和辞典などにならない字で、戸籍に記載

改正点のポイント		
	変更前	変更後
名称	戸籍謄本 戸籍抄本	戸籍の全部事項証明書 戸籍の個人事項証明書
様式	B5判縦長	A4判縦長
書式	文書体縦書き	項目別横書き
用紙	白紙	複写防止用紙(地紋紙)
公印	朱肉印	黒色の公印(電子印)

**手数料はそのままで**  
 証明書発行の手料は、これまでと変わりません。戸籍の全部事項証明(戸籍謄本)・戸籍の個人事項証明(戸籍抄本)とも1通450円です。

**今までの戸籍は100年保存**  
 これまで使用していた戸籍は「平成改製原戸籍」として、市で100年間保存します。平成改製原戸籍は、今までもどおり交付できます。(1通750円)

**手数料はそのまま**  
 証明書発行の手料は、これまでと変わりません。戸籍の全部事項証明(戸籍謄本)・戸籍の個人事項証明(戸籍抄本)とも1通450円です。

該当する人には、先月、書面で通知しています。

## 日曜日に納税窓口開設

仕事などで、平日に納付ができない人を対象に、納税窓口を次の日曜日に開設します。市県民税、固定資産税、国民健康保険税などの市税、介護保険料の納付、納税相談に応じます。

日時/12月12日、19日(とも)

に日曜日)、午前8時30分から午後5時15分

場所/市役所納税推進室

来年3月まで、毎週木曜日(12月23日は除く)には、納税窓口を午後7時まで開設し、納税相談と市税などの納付を受け付けています。

## 4月からペイオフ全面解

来年3月末までは、普通預金、当座預金、別段預金については全額保護されます。定期預金や定期積立などは金融機関ごとに元本合算して1千万円までとその利息が保護され、それを超えた部分は、破たん金融機関の財産状況に応じて支払われます。

来年4月からは、全額保護されるのは当座預金や利息の

## 年末調整の提出を



年末調整の時期になりました。館山税務署では企業に勤める人に年末調整の提出を呼びかけています。年末調整は所得税の確定申告に代わる重要な手続き。申告書を提出しないと各種控除が受けられなくなります。また、配偶者特別控除のうち、配偶者が控除対象配偶者に該当する場合に適用されていた部分について、本年以降適用がなくなります。問合せ/館山税務署源泉所得担当(☎22-1067)

## 冬の交通安全運動はじまる

「一杯の楽しみわが家に着いてから」をスローガンに今月10日から31日まで、冬の交通安全運動が実施されます。歳末は、飲酒の機会が多くなることや、交通量の増加に伴う道路の混雑などで交通事故の多発が予想されます。市では一人ひとりの正しい

付かない普通預金となりません。利息が付く普通預金や定期預金などについては、元本1千万円までとその利息が保護され、それを超えた部分は、破たん金融機関の財産状況に応じて支払われます。

問合せ/預金保険機構(☎03-3212-6029)、関東財務局(☎048-600-1275)、各金融機関窓口

交通ルールとマナーの心がけを呼びかけています。

重点目標/①飲酒運転の追放、②高齢者の交通事故防止と安全運転の励行、③シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

問合せ/社会安全対策課(☎22-3464)

## 保育園の入園受付開始

来年4月から入園する保育園児の受け付けがはじまります。現在、入園している人には、保育園を通じて関係書類を配布します。入園審査を経て、3月下旬に決定します。対象/保護者の労働や疾病などで、家庭で保育できない場合が対象です。生後2カ月くらい(産休明け)から入園できます。保育時間/午前8時から午

後4時(土曜日は午前11時まで)。事情により、長時間保育も行いますが、時間は保育園によって異なります。保育料/公立、私立とも共通で、世帯の税額と園児の年齢で異なります。申請方法/1月11日から2

千葉県環境財団では、ふるさと千葉県の自然環境の保全

## NPOの活動に補助

4日までに、社会福祉課で受け付けます。問合せ/社会福祉課児童福祉係(☎22-3496)

と再生のため、NPOなどが県内で行う活動に対して、経



AX23-5107)にある用紙か大会ホームページ(<http://park1.wakwak.com/~shougi.awa/>)に氏名、住所、電話番号、参加希望クラス、宿泊の有無、交通手段などを記入して、提出します。

費の一部を補助します。対象活動/①自然環境の保全・再生、②体験的環境学習、③省資源リサイクル

助成金額/助成対象経費の2分の1以内または50万円のいずれか低い額を限度額とします。対象事業の実施期間/平成17年4月1日から18年3月31日

問合せ/財)千葉県環境財団環境再生基金チーム(☎043-246-2078、ホームページ<http://www.ckz.jp/saisei/>)

## 市役所南側の交通規制は朝8時まで

市役所入口に接する南側市道の交通規制時間に変更になりました。

これまで午前7時から午前8時30分までの規制でしたが、午前7時から午前8時まで、自転車を除き車両通行禁止(土曜・日曜・休日を除く)になりました。問合せ/財政課管財係(☎22-3296)

## 今年地価調査一覧まとまる

地価調査は、都道府県が実施するもので、毎年7月1日を基準日として基準地の地価を調査・公表するものです。地価公示と同様に、土地を売買する際に参考になります。市内では表の12カ所の基準地が選定されています。全国の地価公示や県内基準地に関する図書は、市都市計画課と市図書館にあり、誰でも閲覧できます。問合せ/都市計画課都市計画係(☎22-3610)

市内の地価調査(基準地)一覧表【平成16年7月1日現在】

基準地番号	基準地の所在	基準地の価格(円/m)	都市計画法の用途地域等
館山-1	館山市笠名字新貝曾1408	24,900	(都)第一種住居地域
-2	// 館山字浜道896-1	31,000	
-3	// 上真倉字砂田92-18	28,000	
-4	// 北条字北浜小松2290-32外	38,700	
-5	// 北条字新塩場1681-2外	42,600	(都)第一種中高層住居専用地域
-6	// 湊字江川351-10	27,000	(都)第一種住居地域
-7	// 船形字堀合497-5	25,400	(都)用途地域外
-8	// 犬石字川向1496-78	17,700	(都)商業地域
3-1	// 上野原字辻道55-1	10,600	準防火地域
5-1	// 北条字新塩場1636-4外	51,000	(都)準工業地域
5-2	// 北条字浜新田2549-3外	39,000	
7-1	// 沼字磯崎985-15	26,300	

## お正月南房総小中学生将棋大会を開催

日本将棋連盟安房支部などでは、第8回お正月南房総小中学生将棋大会を開催します。小・中学生であれば自由に



参加できます。(小学生以下は親同伴)ゲストに大会出身の女流プロ1級の鈴木環那さんが出席予定です。日時/1月4日(火)午前9時30分から場所/コミュニティセンター参加費/無料申込方法/館山北ライオンズクラブ(☎22-3607、F

## いきいき教室(介護予防教室)

高齢者が要介護状態や寝たきりになることを防ぎ、健康で生き生きとした老後の生活を送ることができるよう、ほほえみ在宅介護支援センターと市が共催して「いきいき教

館山北ライオンズクラブへの電話は、月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで。それ以外はFAXまたはEメールで受付。締切/12月17日(金)問合せ/中央公民館(☎23-3111)

室)を開催します。日時/1月12日(水)、25日(火)、2月1日(火)、15日(火)、3月8日(火)、23日(水)場所/老人福祉センター(2月1日は菜の花ホール)

対象/65歳以上の人内容/①健康チェック・生活活動体力測定、②健康体操・レクリエーション、③膝関節痛・腰痛予防体操、④健康・生活相談、⑤調理実習、⑥講話定員/20人参加費/無料(調理実習の実費負担あり)送迎/近くの幹線道路からマイクロバスで送迎します。締切/12月27日(水)問合せ/申込み/高齢者福祉課(☎22-3489)